

町長からの年賀状



山田町長 佐藤信逸

新年おめでとうございます。本年が皆様にとって良い年になりますことを祈念いたします。

昨年を顧みますと多くの出来事がありました。NPO事件における刑事裁判では、岡田被告に6年の実刑判決が出されました。民事裁判も含め今後の経過を注視してまいります。

復興事業では多くの建

物が完成しました。7月に開館したふれあいセンター「はびね」にはのべ2万人以上が来館し、9月には一般病床50床を備えた県立山田病院が開院。続いて共同店舗棟「オー

ル」と、隣接する本町最大の山田中央団地も完成し、新しい生活拠点が生じました。山田型復興住宅は6月の公開開始後、千人近い方々が見学され、

自宅再建への関心の高さがうかがえます。

町を挙げてお出迎えした天皇皇后両陛下のご来訪は、多くの町民がそのお姿に感動し、勇気を頂きました。涙と笑顔と感動あふれる貴重な時間でした。また、本町が会場となった希望郷いわて国体軟式野球競技では、全国から訪れた皆さんにこれまでの感謝をお伝えできたと思っております。

ことし1月には、町中心部の新しい国道45号が通行可能となるほか、山田地区の高台団地、区画整理かさ上げ地も来春の完成に向けて、急ピッチで工事が進みます。三陸沿岸道路山田宮古道路も同時期の開通予定となっております。

結びに、新年が素晴らしいものでありますよう祈念しご挨拶とさせていただきます。

山中柔道部の3人が活躍見せる

県中学校新人大会柔道競技

11月19日から20日にかけて、宮古市民総合体育館（宮古市）で行われた第37回岩手県中学校新人大会柔道競技で、山田中学校柔道部の3人が入賞を果たしました。

◎男子73^{kg}級

男子73^{kg}級では、山崎寛樹君が優勝。「いつもより調子が良く、自信はありました」と当日を振り返る山崎君。「県大会に出場したのは初めてでした。優勝という結果が残せてうれしいです」と顔をほころばせます。

◎男子55^{kg}級

男子55^{kg}級では、中村大拓君が優勝。普段の練習では得意技を伸ばすことに重点を置き臨んでいるという中村君。「前回の中総体では、2位という結果で悔しい思いをしました。今回優勝することができてうれしいです」と感想を話します。

◎男子60^{kg}級

男子60^{kg}級では、箱石扉君が2位に入賞しました。「入賞できましたが、当日は本来の力を出せなかったと



左から山崎君、中村君、箱石君

思います」と悔しさをにじませます。練習で力をいれていることを伺うと「苦手な技の克服と声を出すことです」と笑顔で答えてくれました。